

2026年3月期（第208期）第3四半期決算について

2026年2月2日

大阪ガス株式会社

1. 経営成績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 決算の概要

当第3四半期の売上高は、前年同期並みとなりました。経常利益は、国内エネルギー事業における原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグ（*1）による増益影響の拡大などにより、増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。

なお、タイムラグ影響を除いた経常利益は、米国フリーポート液化基地（LNG）や米国上流事業のサビン社での増益により、増益となりました。

（*1）原料価格及び燃料価格の変動が、原料費調整制度及び燃料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連結	14,388 (△0.4%) [14,441、△ 53]	1,337 (+34.4%) [995、+ 342]	1,631 (+30.0%) [1,255、+ 376]	1,403 (+54.5%) [908、+ 495]
	タイムラグ影響を除いた実績		1,444 (+20.3%) [1,200、+ 243]	—

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる増益影響の拡大などにより、増益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、米国フリーポート液化基地（LNG）や米国上流事業のサビン社での増益などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、都市開発事業での増益などにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント利益（注）
国内エネルギー	11,675 (△ 3.2%) [12,060、△ 385]	631 (+ 65.8%) [380、+ 250]
海外エネルギー	1,054 (+15.1%) [916、+ 138]	712 (+ 29.5%) [550、+ 162]
ライフ&ビジネス ソリューション	2,176 (+ 8.8%) [2,000、+ 175]	221 (+ 2.7%) [216、+ 5]

（注）セグメント利益：営業利益＋持分法投資損益

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(3) 国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m³]は、家庭用と業務用等のガス販売量がいずれも前年同期並みで推移し、全体でも前年同期並みとなりました。

連結ガス販売量（百万m ³ ）	4,637（△ 0.3%）
家庭用	1,006（+ 1.0%）
業務用等	3,631（△ 0.7%）
連結ガス供給件数（千件）	5,144（+ 1.0%）

（ ）内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸等がともに増加し、前年同期を上回りました。

電力販売量（百万kWh）	12,189（+ 3.5%）
小売	5,553（+ 5.6%）
卸等	6,635（+ 1.9%）
低圧電気供給件数（千件）	1,935（+ 2.5%）

（ ）内は対前年同期増減率

2. 当期（2026年3月期）の業績予想

2025年10月30日に公表した業績予想から修正はありません。

[単位：億円]

	連結
売上高	20,500（△ 0.9%）
営業利益	1,600（△ 0.5%）
経常利益	1,860（△ 1.9%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,420（+ 5.6%）

（ ）内は対前期増減率

（参考）今回業績予想における原油価格・為替レート的前提

	第3四半期累計実績 (2025年4月～12月)	第4四半期以降 予想 (2026年1月～3月)	2026年3月期 通期見通(年間平均)
原油価格 (全日本C I F 価格) ドル/バレル	72.9	65.0	71.0
為替レート (TTM) 円/ドル	148.7	155.0	150.3

・前回予想時の2026年1月～3月における前提

原油価格（全日本C I F 価格）：70ドル/バレル・為替レート（TTM）：150円/ドル

以上